

1. 授業の概要(ねらい)

日本各地には、地域の人々によって伝承されている芸能がある。民俗学、芸能研究において、これらの芸能は「民俗芸能」と呼ばれている。この授業では民俗芸能の研究史を踏まえながら、「民俗芸能」とはどのような芸能なのか、どのような地域でどのような人々によって演じられているのか、基礎的な知識を学ぶ。

また、民俗芸能を演じ、次世代へ伝える上で起こる諸問題について検討し、現代社会において民俗芸能を伝承する意味について考える。

前期では、民俗芸能の基礎的な知識を学んだ上で、民俗芸能の現状を取り上げ、その課題について理解できるようにする。

2. 授業の到達目標

- ① 民俗芸能の基礎概念を理解することができる。
- ② 民俗芸能とはどのような芸能なのかを把握することができる。
- ③ 民俗芸能の現代的課題について自ら考えることができる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1)リアクションペーパー(到達目標①②) 30% (知識・理解)
- (2)筆記試験(到達目標②③) 70% (理解、意欲)

4. 教科書・参考文献

参考文献

折口信夫 日本芸能史六講(全集21) 中央公論新社

池田弥三郎 芸能と民俗学 岩崎美術社

三隅治雄 日本民俗芸能概論 東京堂出版

本田安次 図録 日本の民俗芸能 朝日新聞社

第一民俗芸能学会 課題としての民俗芸能研究 ひつじ書房

5. 準備学習の内容

以下のような準備学習課題を課します。

- ・事前に参考書や提示した資料などを読み、講義内容の理解を深める。
- ・YouTubeなどの動画配信サービスを通して民俗芸能を見て内容を確認する。
- ・民俗芸能に関するニュースを集め、現在の課題について考える。

6. その他履修上の注意事項

コロナ禍において民俗芸能がどのような状況にあるのか、ネットやメディアを通じて積極的に情報を収集する。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 芸能と民俗芸能
- 【第3回】 民俗芸能研究の潮流1 ※オンライン授業
- 【第4回】 民俗芸能研究の潮流2
- 【第5回】 さまざまな民俗芸能① 神楽Ⅰ
- 【第6回】 さまざまな民俗芸能② 神楽Ⅱ
- 【第7回】 さまざまな民俗芸能③ 田楽Ⅰ
- 【第8回】 さまざまな民俗芸能④ 田楽Ⅱ
- 【第9回】 さまざまな民俗芸能⑤ 風流Ⅰ
- 【第10回】 さまざまな民俗芸能⑥ 風流Ⅱ
- 【第11回】 さまざまな民俗芸能⑦ 語り物・祝福芸
- 【第12回】 さまざまな民俗芸能⑧ 延年・おこない／外来系
- 【第13回】 民俗芸能伝承の現状と課題①
- 【第14回】 民俗芸能伝承の現状と課題②
- 【第15回】 筆記試験とまとめ